



## 長寿切手の年輪を読む (4) 切手趣味週間切手

国土緑化、国民体育大会、国際文通週間、と長寿切手を偏見してきて、残ったのが切手趣味週間である。切手趣味週間切手(以後、趣味切手と略記)は1947年、「郵便切手の芸術性、美しさといった文化的価値を広く認識してもらい」、「切手収集の趣味の普及を図る」ために郵政省が郵便週間の行事の一環として設けられた切手趣味週間を記念して発行された切手である、最初の発行は北斎の富士1円普通切手を組み合わせた小型シートである。その後、未発行4年もあるが、を73年



1947年初の趣味週間で発行された小型シート。300万枚の発行で売れ残り多く、バラして売った局もあったとか、更に、5ヶ月後に12万枚に北斎百年祭記念と赤く加刷して記念小型シートとして発行



1954年趣味週間で発行された記念切手帳。製本はされていないペーンとなった切手帳?。タブの内容が異なる製本された普通切手帳が同じ日に発行されている。

間に表1のように69件150種の切手が発行されてきた(小型シート、ペーン各1)。全体を見て、過去整理した長寿切手い比べて種類、サイズ、発行枚数等、非常にバラエティに富んだ複雑な発行がされてきたことが判る。そんな中唯一統一されていると考えられるのが意匠である。意匠が全て国宝、重文も含む絵画であることが明らかである。トリミング、補正等は一部にされてはいるが、切手のためにえがかれた意匠は全く見られない。その意味では趣味週間の目的「郵便切手の芸術性、美しさを認識してもらおう」という目的に沿っているようである。

表2. 発行種数

種類	件数
1	34
2	21
3	2
4	3
5	1
6	2
10	4
SS・ペーン	2
総計	69

発行の種類数を整理すると非常にばらついた発行がされてきており、徐々に種類数が増えてきている。種類数と絵画分野とを整理したのが表3である。趣味切手という見返り、ビードロから浮世絵切手が多い印象であるが、発行件数では近代絵画、種類では屏風が

多くなって浮世絵の影が薄れてきている。最近のように屏風切手の発行が続くと、

表3. 絵画分野と発行回数と種類

絵画分野	件数	種類	種類平均
近代絵画	25	31	1.24
浮世絵	17	26	1.6
屏風	17	71	4.2
江戸絵画	6	18	3
絵巻	2	2	1
襖絵	1	3	3
仏画	1	0	1
総計	69	151	平均2.3

表1. 切手趣味週間切手の発行一覧

番号	発行年	発行日	発行種	全枚数	原画	作者等	作品分野	W*H	備考
1	1947年	11月1日	小型S	300	山下白雨	北斎	浮世絵		
2	1948年	11月29日	1	150	見返り美人	菱川師宣	浮世絵	26*63.5	
3	1949年	11月1日	1	200	月に雁	広重	浮世絵	26*63.5	
4-7	1950年	～53年	発行なし		趣味週間に関連したと思われる	小型シート考慮			
8	1954年	11月20日	ペーン	6.5	観音菩薩像	(法隆寺)	仏画		
9	1955年	11月1日	1	550	ピードロを吹く娘	喜多川歌麿	浮世絵	33*48	
10	1956年	11月1日	1	550	海老蔵	写楽	浮世絵	33*48	
11	1957年	11月1日	1	850	まりつき	鈴木春信	浮世絵	33*48	
12	1958年	4月20日	1	2500	雨中湯帰り	鳥居清長	浮世絵	33*48	
13	1959年	5月20日	1	1500	浮世源氏	鳥文斎栄之	浮世絵	33*48	
14	1960年	4月20日	1	1000	三十六歌仙絵巻	藤原信実	絵巻	33*48	
15	1961年	4月20日	1	800	舞踊図屏風	作者不明	屏風	33*48	
16	1962年	4月20日	1	1000	花下遊楽図屏風	狩野長信	屏風	33*48	
17	1963年	4月20日	1	1450	本田平八郎姿絵屏風	作者不明	屏風	33*48	
18	1964年	4月20日	1	2800	源氏物語絵巻	作者不明	絵巻	48*33	
19	1965年	4月20日	1	3800	序の舞	上村松園	近代絵画	33*48	
20	1966年	4月20日	1	3500	蝶	藤島武二	近代絵画	48*33	
21	1967年	4月20日	1	3300	湖畔	黒田清輝	近代絵画	48*33	
22	1968年	4月20日	1	3000	舞妓休泉	土田麦徑	近代絵画	31*48	
23	1969年	4月20日	1	3151	髪	小林古徑	近代絵画	31*48	
24	1970年	4月20日	1	3500	婦人像	岡田三郎助	近代絵画	33*48	
25	1971年	4月19日	1	4300	築地明石町	鎌木清方	近代絵画	27*48	
26	1972年	4月20日	1	5000	気球揚る	中村岳陵	近代絵画	27*48	
27	1973年	4月20日	1	5000	住吉詣	岸田劉生	近代絵画	27*48	
28	1974年	4月20日	1	5000	指	伊東深水	近代絵画	27*48	
29	1975年	4月21日	2	6000	松浦屏風	作者不明	屏風	31.5*42	
30	1976年	4月20日	2	4700	彦根屏風	作者不明	屏風	31.5*42	
31	1977年	4月20日	2	5000	機織図屏風	作者不明	屏風	31.5*42	
32	1978年	4月20日	2	4700	寛文美人図	作者不明	浮世絵	30*42	
33	1979年	4月20日	2	5000	立美人図	懐月堂安度	浮世絵	30*42	
34	1980年	4月21日	2	4800	春の野遊	西川佑信	浮世絵	30*42	
35	1981年	4月20日	2	4500	見立夕顔	鈴木春信	浮世絵	30*42	
36	1982年	4月20日	2	4500	待乳山雪見	鳥居清長	浮世絵	30*42	
37	1983年	4月20日	2	4500	台所美人	喜多川歌麿	浮世絵	31.5*42	
38	1984年	4月20日	2	4500	重の井	写楽	浮世絵	29.5*42	
39	1985年	4月20日	2	5000	北方の朝	竹久夢二	近代絵画	25*35.5	
40	1986年	4月15日	2	5000	南波照間	菊池契月	近代絵画	25*35.5	
41	1987年	4月14日	2	5000	化粧の女	橋口五葉	近代絵画	25*33.5	
42	1988年	4月19日	2	5000	長襦袢 帯	鳥居言人	近代絵画	25*33.5	小型シート
43	1989年	4月18日	2	4600	阿波踊り	北野恒富	近代絵画	25*35.5	小型シート
44	1990年	4月20日	1	9800	星を見る女	太田睦雨	近代絵画	25*35.5	小型シート
45	1991年	4月19日	2	11000	見返り美人	菱川師宣	浮世絵	25*33.5	小型シート
46	1992年	4月20日	1	3000	榻上の花	山口蓬春	近代絵画	25*33.5	
47	1993年	4月20日	1	5000	画室にて	堅山南風	近代絵画	25*35.5	
48	1994年	4月20日	1	5000	花菖蒲	福田平八郎	近代絵画	25*35.5	
49	1995年	4月20日	1	5000	画室の客	金島桂華	近代絵画	25*35.5	寄付金付
50	1996年	4月19日	1	5000	窓	安田靉彦	近代絵画	25*35.5	
51	1997年	4月18日	1	5000	醍醐	奥村土牛	近代絵画	30*42	
52	1998年	4月17日	1	5000	罌粟	小林古徑	近代絵画	30*42	
53	1999年	4月20日	2	4000	兔春野に遊ぶ	堂本印象	近代絵画	31.5*42	卯
54	2000年	4月20日	2	5000	龍虎図	橋本雅邦	江戸絵画	42*33	辰
55	2001年	4月20日	1	3000	郵便投函の図	中村洗石	近代絵画	36.5*24.45	ポスト誕生100年
56	2002年	4月19日	2	2500	賀茂競馬図屏風	作者不明	屏風	30*42	午・微小字
57	2003年	4月18日	1	2500	羊木昇兆風	(正倉院)	屏風	30*45	未・微小字
58	2004年	4月20日	1	2000	雨中桜五匹猿図	森狙仙	江戸絵画	30*45	申・楕円孔
59	2005年	4月20日	1	1600	大鷲雄図	伊藤若冲	江戸絵画	30*45	酉・楕円孔
60	2006年	4月20日	2	1200	朝顔狗子図杉戸	円山応挙	江戸絵画	25*35.5	戌・楕円孔
61	2007年	4月20日	6	3000	眠る猪	森一風	江戸絵画	25*35.5	亥・楕円孔
62	2008年	4月18日	5	2000	押絵張屏風	渡辺省亭	屏風	25*35.5	(子)
63	2009年	4月20日	6	2000	牡丹	于非閣	江戸絵画	33*45	
64	2010年	4月20日	4	1800	龍虎図屏風	橋本雅邦	屏風	45*33	
65	2011年	4月20日	3	1800	郵便ノ使 音吉	豊原国周	錦絵	30*42	郵便創業140年
66	2012年	4月20日	3	1800	籬に草花図襖	作者不明	襖絵	42*30	
67	2013年	4月19日	10	1600	四季花鳥図屏風	狩野元信	屏風	22.5*48	
68	2014年	4月18日	4	1300	菊二鶴図屏風	狩野永叔	屏風	30*42	
69	2015年	4月20日	4	1300	桐鳳凰図屏風	狩野探幽	屏風	42*30	
70	2016年	4月20日	10	1000	洛中洛外図屏風	狩野永徳	屏風	45*30	
71	2017年	4月20日	10	700	燕子花図屏風	尾形光琳	屏風	21.5*48	
72	2018年	4月21日	2	700	風神雷神図屏風	俵屋宗達	屏風	25.5*48	
73	2019年	4月19日	10	700	朝顔図屏風	鈴木其一	屏風	21.5*48	



近代絵画 25 件

31 種 浮世絵 17 件 26 種 屏風 17 件 71 種  
発行件数、種類の多い絵画

ますます屏風切手の印象が強くなってくるのであろうか。屏風切手の発行にぜひ実現してほしいことがある。それは六曲の屏風を切り取りもしくはトリミングで 5 枚連刷で発行されているのを、6 枚連刷で原画を尊重し発行して欲しいと感じる。二曲一対の風神雷神図屏風さえ原画の半分以上が表現されていない。



風神雷神切手を原画に載せると



原画を尊重し連刷切手にすると

表 4. 切手サイズ比較

W*H mm	枚	面積 mm	代表例
26*63.5	2	1651	見返り
33*48 &	14	1584	ピードロ
31*48	2	1488	舞妓休泉
33*45 &	2	1485	牡丹
30*45 &	4	1350	羊木昴光風
31.5*42	5	1323	兔春野に遊ぶ
27*48	4	1296	築地明石町
30*42 &	12	1260	寛文美人図
21.5*48	2	1032	燕子花図屏風
25*35.5	11	888	北方の朝
25*33.5	4	838	化粧の女
42*33	1	1386	龍虎図
29.5*42	1	1239	重の井
25.5*48	1	1224	風神雷神図屏風
22.5*48	1	1080	四季花鳥図屏風
36.5*24.5	1	894	郵便投函の図

また、趣味切手は他の長寿切手に比べて目立つのが切手のサイズの種類が多さである。単純であるが印刷面の面積で整理したのが表 4 である。他の長寿切手よ



33\*48 31\*48 33\*45 30\*45  
26\*63.5 横\*縦mm 左寄り大きい順の切手表示

りサイズの大きい切手と見返り美人が代表する普通より縦に長い切手が多いことが目立つ。また、印刷面でも他の長寿切手がオフセット印刷になってきているのに、グラビア+凹版、グラビア・メタリックマルチイメージも含めすべてグラビア印刷であり、関連して外国での印刷と民間会社での印刷がないという違いがみられる。また、微細文字印刷、楕円孔穴(目打)がなされた発行がみられる。



2003 JAPAN POST  
グラビア・凹版 グラビアマルチイメージ 微小文字印刷  
3 枚 14 種 12 枚 58 種 2 枚  
楕円目打 4 枚

更に、趣味週間に他の目的を持たせて発行された切手が 3 件ある。1995 年阪神・淡路大震災寄附金付、2001 年赤い丸形ポスト誕生 100 周年、2011 年郵便創業 140 周年の意味を併せて発行されている。



1995 年 2001 年 2011 年  
震災寄附金付 ポスト誕生 郵便創業 140  
他に二種

別の目的に利用された趣味切手もある。1987 年から 1992 年に発行されたさくらメールの景品として小型シートになり 1988 年から 1991 年の 4 年間だけ発行されたり、



別にタブ付きで発行されたり、いろいろいじくられた形跡が気になる特殊切手である。

以外に気づかれていないのが切手原画の内容に干支の動物が隠れている期間が存在することである。1999年から2008年の10年間の絵画にはウサギ卯からネズミ子までが描かれている。



見返り美人、月に雁、ビードロと切手ブームの中心的に扱われた趣味切手の避けて通れないのが発行枚数であろう。ブーム鎮静化のために増刷を繰り返した切手もあるほど、発行枚数の推移を整理したのが図1である。

ブーム時の雨傘の後、長期にわたり発行数の多いことに驚かされ、1990、91に突出した発行がみられる理由が解らない。一方、2003年以降発行種類数は増えながら総発行数も減じて1種類の切手の発行数が急激に少なくなり、2019年は1948年見返り美人の半数にも満たない70万枚ということになっている。この傾向とグリーティング切手、シリーズ切手のシール切手の発行とその増減の推移を比較すると図2、3の様になる。



図2. グリーティング切手と趣味週間切手の発行推移

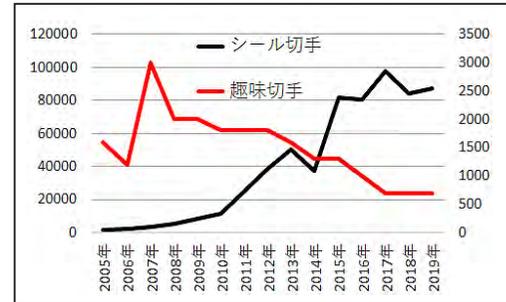


図3. シール切手と趣味週間切手の発行推移

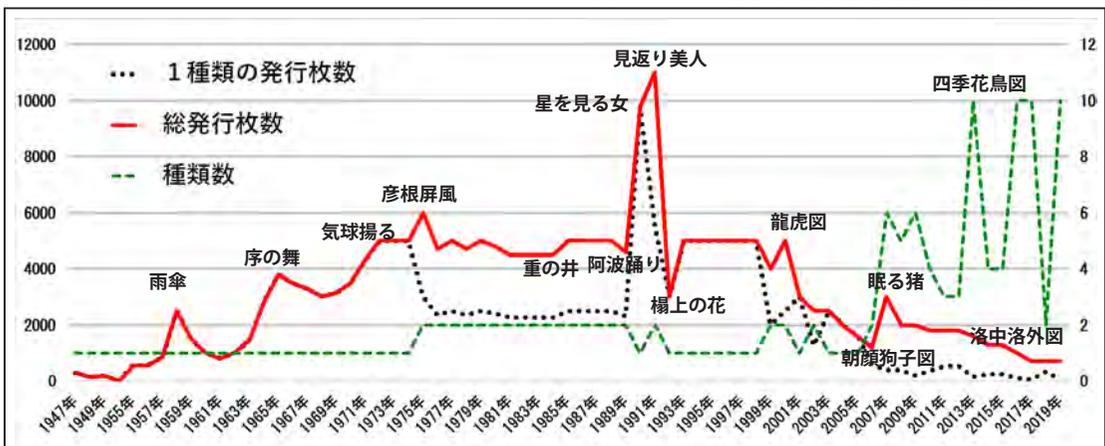


図4. 発行枚数の推移

2007年～12年のように種類によって発行枚数が異なる年は少ない値を表示

趣味週間切手は1種平均1446万枚であるが、2000年までは2743万枚であるのに2000年以降は431万枚と6分の1以下になっている。切手発行の主役が切手趣味週間代表される特殊切手からシール切手のシリーズ、グリーティング切手にシフトしてしまったと痛感させられる。

今回週間切手を調べて、興味深いことを知ることができた。見返り美人が発売当初はその形から使用しにくいと不評で人気がなく、売れ残りが生じていたという。また、事前に記念押印用台紙までが用意された。



また、1950年～53年の趣味切手が発行されなかった4年間に趣味週間を意図して発行が予定された小型シートがあったという。それは1950年11月1日の郵便週間初日に普通切手と同時に発行された平等院鳳凰堂24円の小型シートである。趣味週間記念と発売を予定したが、切手乱発の批判を考慮して、石山寺、姫路城小型シートと同じ形で



の発行にしたという。翌1951年4月14日郵政記念日制定(1958年より切手趣味週間を設ける)し、趣味週間の意味も含んだか、郵便創始80周年記念小型シートを発行している。この、趣味週間発行のない4年間の切手発行数の平均は43種程度で最近のばかげた発行、500種類の10分の1にも満たない、ゆっくり切手に、美しさ、芸術性といった文化的価値を見つけられる羨ましい発行である。

このように、趣味週間を見返り、前回の国際文通週間切手を整理した時と同じく、その意匠がすべて芸術品と位置付けられる絵画である。魅力ある切手であり切手としては素晴らしい切手が多い、しかし、切手収集という趣味に結び付ける意味ではどうであろうか。特に切手収集が絶滅危惧のようなとき、切手収集いう趣味が存在することを伝えるデザインも趣味週間切手に求められるのではないだろうか。500種も切手が発行される今日、従来のような芸術品の切手に加えて、切手収集趣味を周知する目的の持った切手の2つの意味を持たせて切手趣味週間の切手発行を期待できないだろうか。(編集子)

